

2023年度 大学連携プロジェクト

県芸・名芸・造形・学芸 夏休み連続講座

申込〆切
8.14^[月]
正午^{まで}

対象：連携大学の
在学生・卒業生
(卒業後10年以内)

自分の目指すシーンで
活用できる考え方を
共に学ぶ5日間

 愛知県立芸術大学

 名古屋芸術大学
NAGOYA UNIVERSITY OF ARTS

 名古屋造形大学
NAGOYA ZOKEI UNIVERSITY

 名古屋学芸大学
NAGOYA GAKUEN UNIVERSITY

 ART LAB AICHI



大学連携プロジェクト 2023 【県芸・名芸・造形・学芸 夏休み連続講座】募集要項

1) 概要

地域の文化芸術の育成と発信を促進することを目的に、愛知県内の4つの芸術大学（愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学、名古屋造形大学、名古屋学芸大学）との連携事業として実施するものです。

連携大学の在学生と卒業生（10年以内）を対象に、美術・芸術の分野で活動していく上で知っておきたい、考えておきたいことなどに焦点を当てた講座を開設します。今期のテーマは、「社会と芸術」「著作権」「アーカイブ」「表現の自由」の4つです。様々な分野の専門家からのレクチャーとディスカッションを通して、各自の目指すシーンで活用できる考え方を学びます。

2) 講座の仕組み

[オリエンテーション] 講座の説明と受講生の自己紹介の時間を設けます。

[インプット]

- ・レクチャー（45分～60分）とディスカッション（45～60分）
ゲストによるレクチャー後、自分の中で印象に残ったことやさらに考えを深めたいことなどをコメントし、それを手がかりにして、ゲストと一緒にディスカッションします。
- ・ふりかえり（60分）
前回の講座に関心を持ったことや抱いた疑問など、受講生同士でふりかえる時間を設けます。

[アウトプット]

今回の講座で学んだことが、今後の活動計画にどのように活きるのか、自分の活動にどのように落とし込めるのかを発表してもらいます。

[アーカイブ]

本講座の内容をレポートにまとめ、アートラボあいちのWEBサイト等へ掲載します。

3) 実施場所

アートラボあいち 2階 会議室（名古屋市中区丸の内3-4-13 愛知県庁大津橋分室 2階）

4) 参加費

無料（交通費や昼食代等は各自負担となります）

5) スケジュール

- 9月 2日 (土) オリエンテーション
レクチャーとディスカッション「社会と芸術」
ゲスト | 服部浩之 (キュレーター)
社会の中にある芸術とはいかなる存在なのか、私たちと芸術の関係性などを考えます。
- 9月 3日 (日) レクチャーとディスカッション「著作権」
ゲスト | 作田知樹 (行政書士 (東京都行政書士会)。Arts and Law ファウンダー・理事)
アートの現場に必要な著作権の基礎知識と具体的な事例を学びます。
- 9月 9日 (土) レクチャーとディスカッション「アーカイブ」
ゲスト | 文谷有佳里 (アーティスト)
活動の記録、記録方法、記録の整理や活用など、事例をもとに考えます。
- 9月 10日 (日) レクチャーとディスカッション「表現の自由」
ゲスト | 森功次 (美学研究者、大妻女子大学国際センター准教授)
法律的な視点ではなく、美学の文脈から表現の自由について考えます。
- 9月 16日 (土) プレゼンテーション

1日の流れ

- 11時00分から12時00分: オリエンテーション (初日のみ)、前回のふりかえり
13時30分から14時00分: レクチャーとディスカッションの準備など
14時00分から16時30分: レクチャーとディスカッション、プレゼンテーション (最終日のみ)

6) 募集人数

15名程度

7) 対象・応募条件

連携大学の在学学生または卒業生 (10年以内) で、計5日間のプログラムに全て出席可能なこと

8) 申込方法

受講希望者は、件名に「県芸・名芸・造形・学芸夏休み連続講座受講申込」と明記し、以下の項目を全て記入の上、メールにてお申し込みください。

- 1) 氏名 (ローマ字表記も追記すること)
- 2) 大学名・学年 (卒業生・修了生は、大学名と卒業・修了した年度を記入)
- 3) 現在の主な活動場所
- 4) 日中連絡のとることができる電話番号
- 5) 応募の動機 (200字程度)
- 6) 主催者へ事前に伝えておきたいこと

申込先メールアドレス | ala@aichitriennale.jp

9) 申込期限

2023年8月14日 (月) 正午まで

※メール受信の確認をした後、受付完了の返信をいたします。8月15日 (火) 正午までに受付完了メールが届かなかった場合には次の電話番号までお問い合わせください。

電話番号: 052-961-6633 (受付日時 | 8月15日 (火) 及び16日 (水) の13時から19時)

10) 選考スケジュール

書類選考結果通知 2023年8月17日 (木) ※メールにて通知

11) 注意事項

本プログラムの記録写真および記録動画を、活動報告や広報の目的で、印刷物やウェブサイトで公開する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

12) 主催

国際芸術祭「あいち」組織委員会、愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学、名古屋造形大学、名古屋学芸大学

13) 助成

文化庁

14) 問合せ先

アートラボあいち（金曜日・土曜日・日曜日・祝日）

住所：〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目 4-13

E-Mail:ala@aichitriennale.jp URL:<https://aichitriennale.jp/ala/>

講師プロフィール

「社会と芸術」 服部浩之 (HATTORI Hiroyuki)

キュレーター。建築を学んだのちに公立のアートセンターに勤務し、アーティスト・イン・レジデンスに携わる。その傍らで、アートスペースを運営したり、アートプロジェクトや芸術祭・国際展に参加し、近年は美術大学で教鞭をとる。山口、青森、秋田、名古屋など異なる地域に暮らし、アジア各地で生まれる表現活動を調査研究するなかで、異なる領域の応答関係に関心をもち、様々な表現者との協働を軸にしたプロジェクトを展開する。主な企画に、「ARTS&ROUTES あわいをたどる旅」(秋田県立近代美術館、2020年)、第58回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館展示「Cosmo-Eggs|宇宙の卵」(2019年)。

「著作権」 作田知樹 (SAKUTA Tomoki)

芸術分野の中間支援、知的財産、法務、文化権、検閲／表現規制を中心とした芸術文化行政、文化政策（日本および米国）の専門家。行政書士（東京都行政書士会）。Arts and Law ファウンダー・理事。Arts Managers Lab. メンバー。東京芸術大学美術学部先端芸術表現科卒。京都精華大学大学院、秋田公立美術大学非常勤講師。著作に『クリエイターのためのアートマネジメント常識と法律』、共著に『美術の日本近現代史・制度・言説・造型』など。

「アーカイブ」 文谷有佳里 (BUNYA Yukari)

アーティスト。愛知県立芸術大学音楽学部作曲専攻卒業。東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了。紙にペンやカーボン紙で即興的に線を描くドロ잉作品を制作している。主な展覧会に、「線からはじまるふたつの世界」真庭市蒜山ミュージアム（岡山、2023）、「桃源郷通行許可証」埼玉県立近代美術館（2022-23）、「ON ーものと身体、接点から」清須市はるひ美術館（愛知、2022）、「あいちトリエンナーレ 2019 情の時代」愛知県美術館（2019）、など。

「表現の自由」 森功次 (MORI Norihide)

美学研究者。大妻女子大学准教授。著作に『ワードマップ現代現象学』（新曜社、2017年、共著）、『世界最先端の研究が教える すごい哲学』（総合法令出版、2022年、共編著）など。論考に「「あいちトリエンナーレ」騒動は「芸術は自由に見ていい」教育の末路かもしれない」（『現代ビジネス』、2019年）など。訳書にロバート・ステッカー『分析美学入門』（勁草書房、2013年）、ノエル・キャロル『批評について——芸術批評の哲学』（勁草書房、2017年）、ドミニク・マカイヴァー・ロペス、ベンス・ナナイ、ニック・リグル『なぜ美を気にかけるのか：感性的生活からの哲学入門』（勁草書房、2023年）などがある。